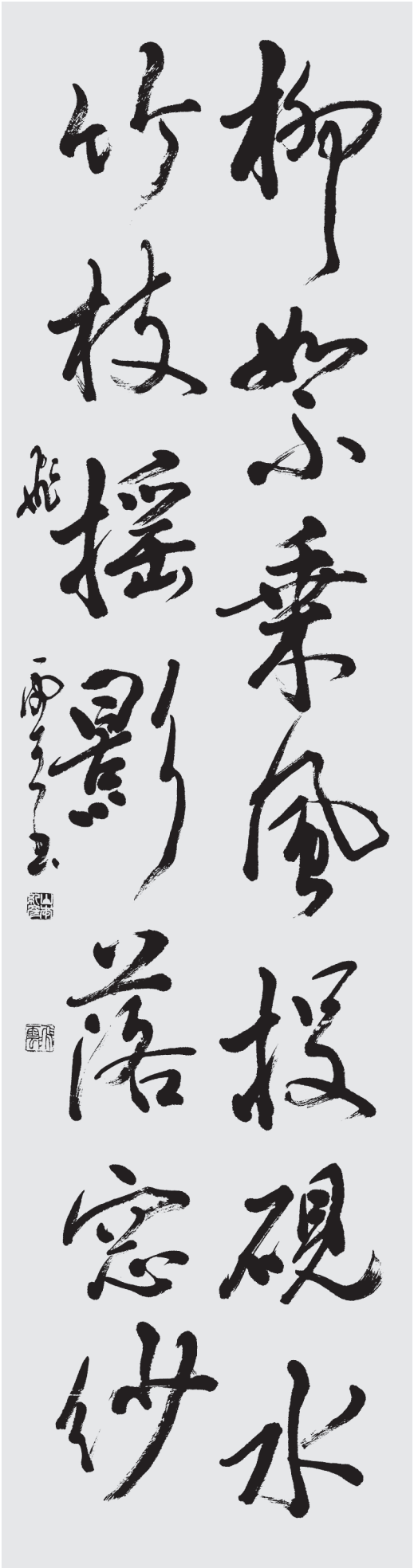
条幅規定参考手本　―5月末日締切―

〈隷書〉

（この課題で書体は自由。但し、この課目は一人一点のみとする）

井之上　南岳先生書

〈行書〉



山本飛雲先生書

□柳絮（りゅうじょ）風に乗じ硯水に投じ、竹枝影を揺かして窓紗に落つ。（瞿佑）

柳の綿毛は風に吹かれて硯池の中に落ち、竹の枝は影を揺らつかせ窓かげにうつる。

次号予告「丘壑寄懐抱」

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

小山やす子先生書

□おの徒可ら　来る人あら盤　もろとも尓　那可免万本し支　山桜可な　〈山家集　九十九〉

おのづから　来る人あらば　もろともに　ながめまほしき　山桜かな

条幅随意（臨書）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点のみとする）

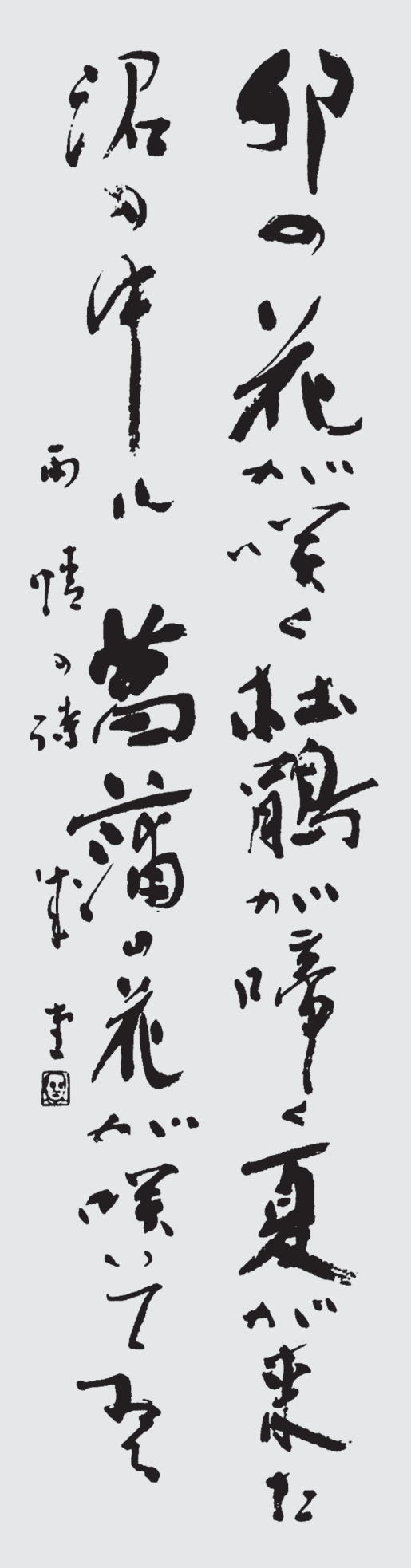
吉田成美先生臨

▽祭姪文稿

方期戩穀何圖逆賊閒釁稱兵犯順爾父竭

条幅随意参考手本　―5月末日締切―

条幅随意（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）



吉田成堂先生書

□夏（抄）　野口雨情の詩　卯の花が咲く、杜鵑が啼く夏が来た。沼の中に菖蒲の花が咲いてゐる。

条幅随意（半折½縦のみ）（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

清原大龍先生書

□令望（良い人物・良い評判の意）

「平成」も終わり五月から「令和」の時代です。その一字を入れ、新しい時代が、和やかで希望溢れることを願い撰文しました。それにしても「昭和は遠くなりにけり」の感があります。

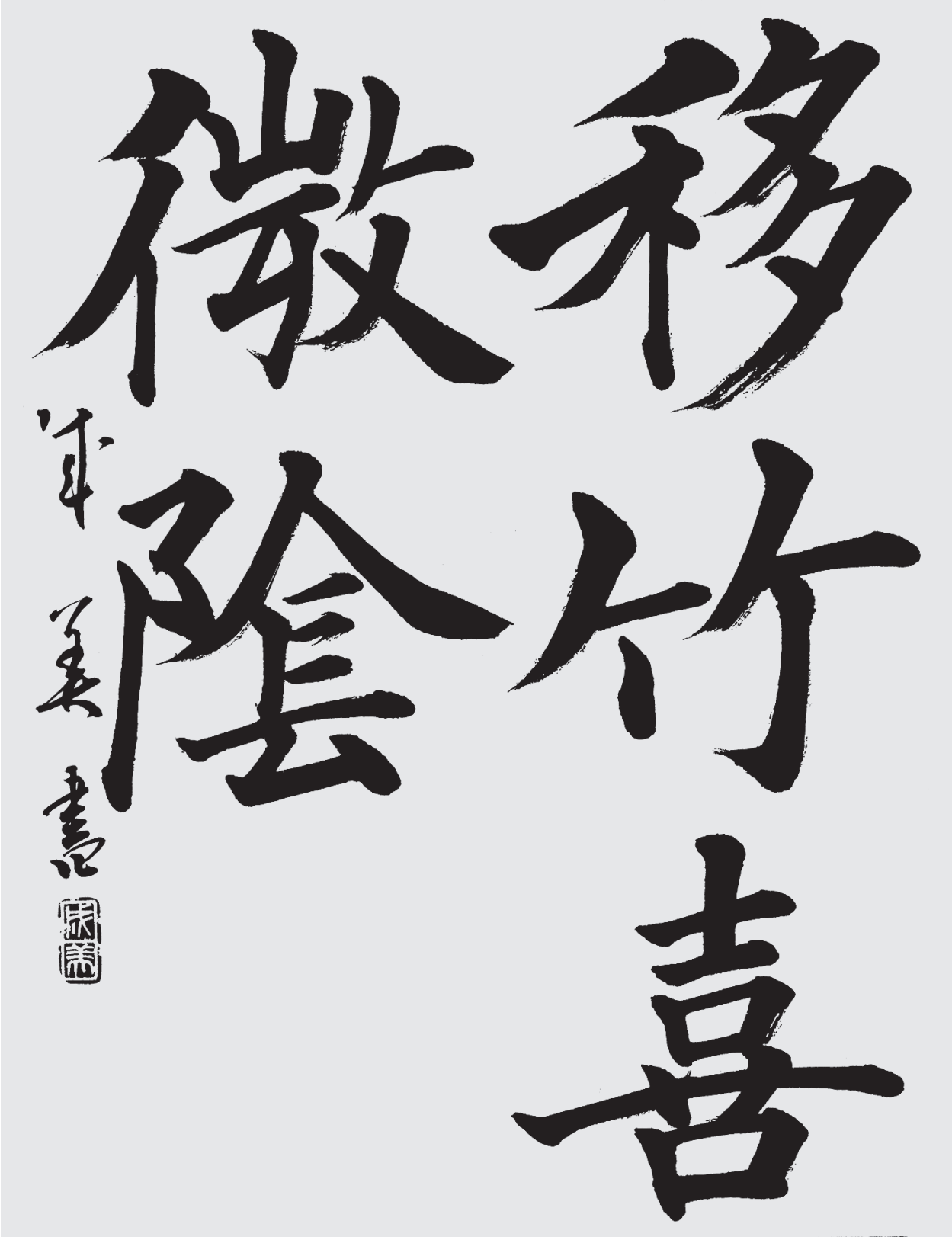
《手本（課題例）にとらわれず意欲的な作品を期待します。》

半折作品は各課目ごとに横⅛に一枚ずつたたんで提出ください。

条幅随意（半折½）漢字・詩文書の手本は、各月交互の掲載となります。

半紙規定参考手本　―5月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



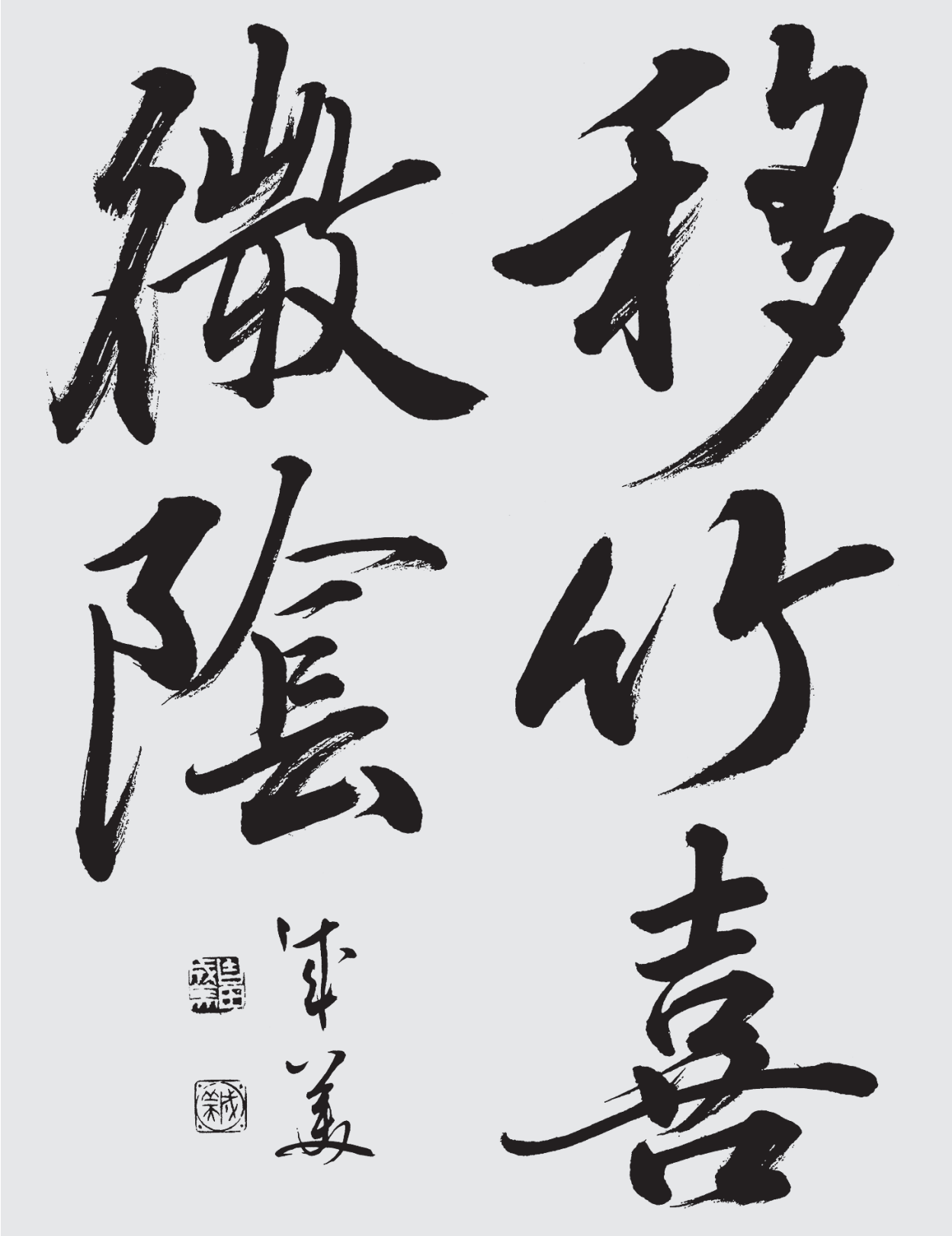
□竹を移して微陰を喜ぶ
竹をうえて少しの涼しき陰を愛する。

次号予告「薫風細葛涼」

吉田成美先生書

半紙規定参考手本　―5月末日締切―

（この課題で書体は自由。但、この課目は一人一点とする）



□竹を移して微陰を喜ぶ
竹をうえて少しの涼しき陰を愛する。

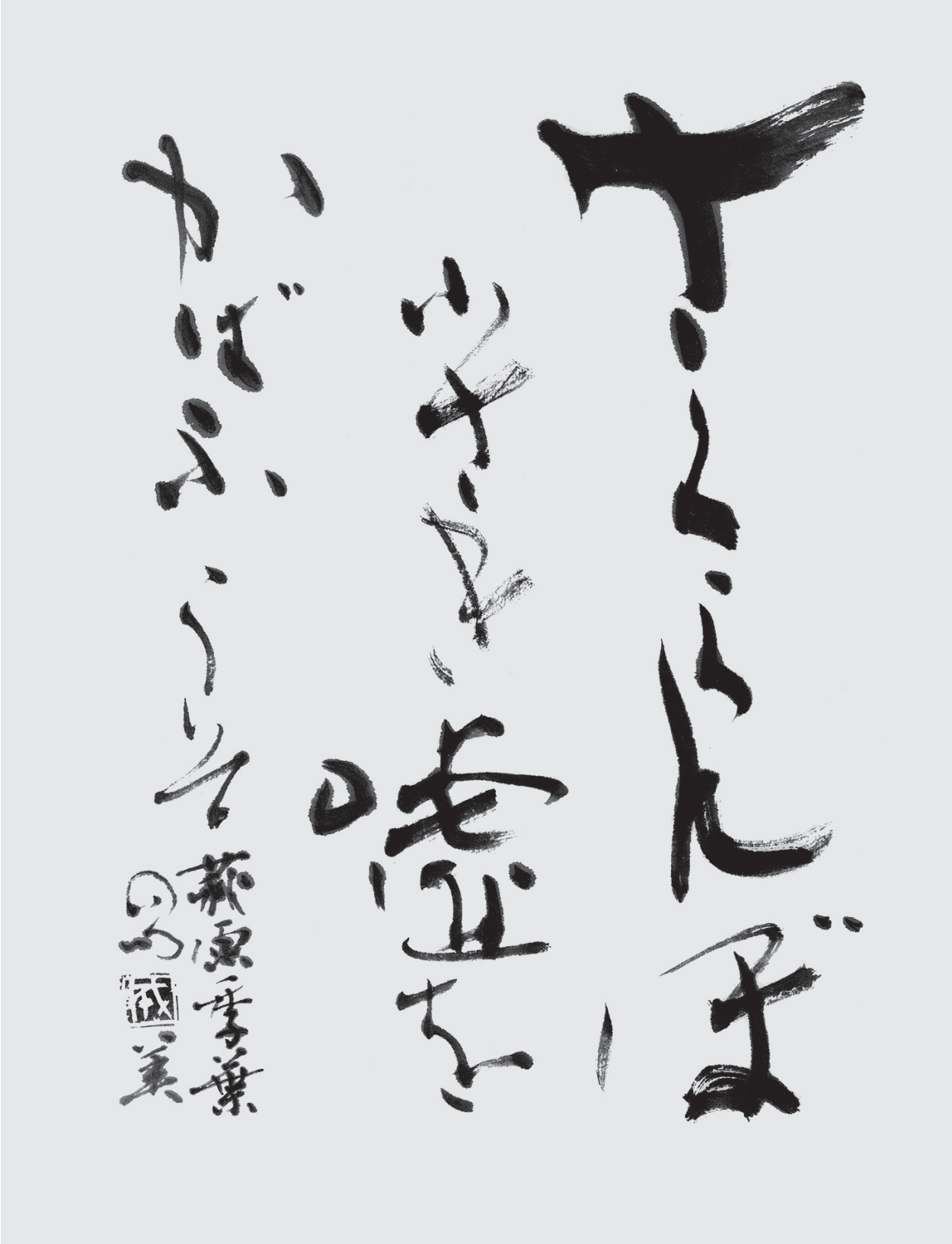
次号予告「薫風細葛涼」

吉田成美先生書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―５月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の漢字・詩文書の手本は、各月 交互の掲載となります .



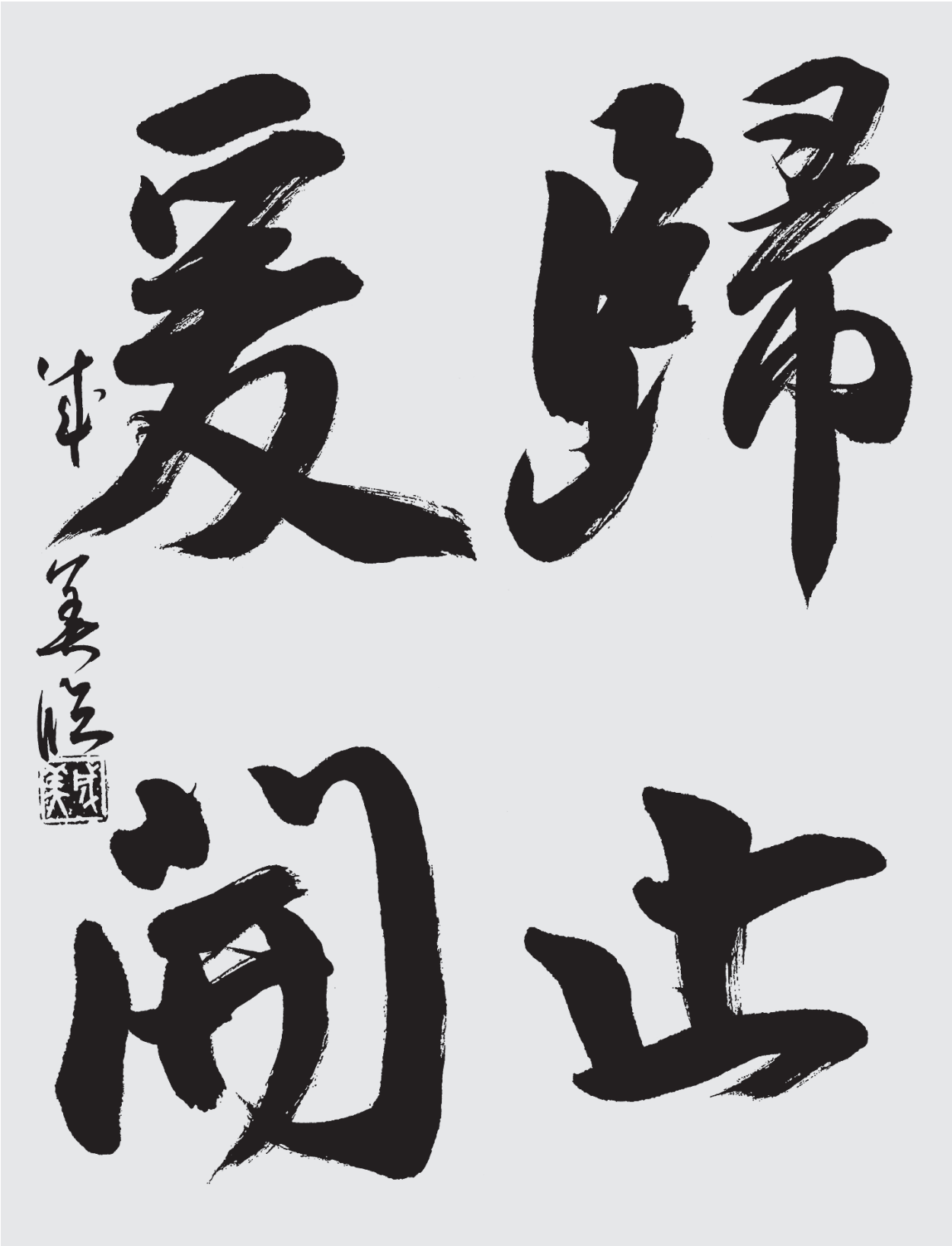
〈詩文書〉　さくらんぼ　小さき嘘（うそ）を　かばふうそ　（萩原季葉の句）

吉　田　成　美　先　生　書

半紙随意（臨書）参考手本　―5月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目は一人一点とする）

▽祭姪文稿



「歸止爰開」

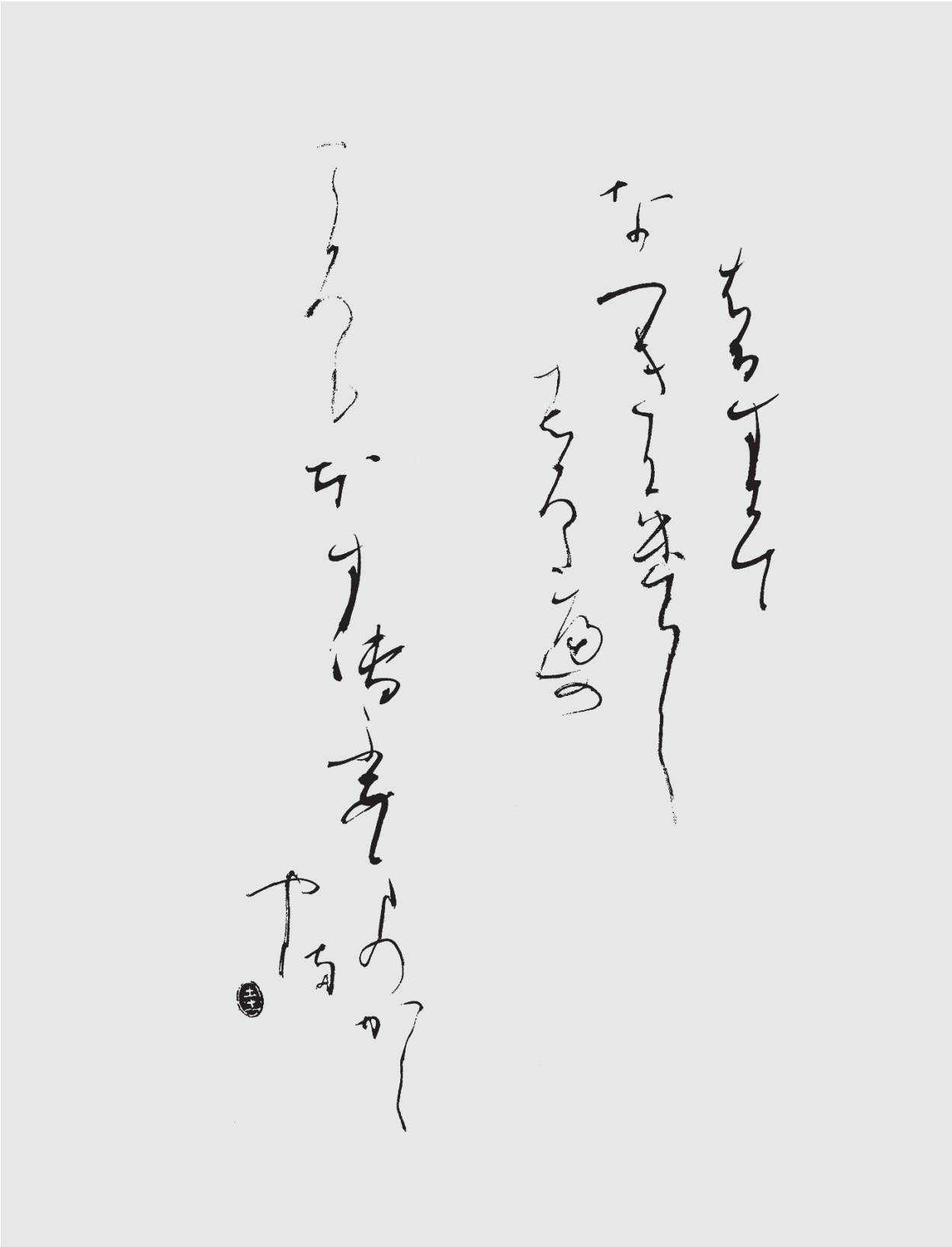
〈臨　書〉疑問の文字もあるが、卒意の書を念頭に置き、起伏の変化にも注目を。

吉田成美先生臨

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―5月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

春過ぎて　夏来にけらし　しろたへの　衣ほすてふ　あまのかぐ山



〈仮　名〉

者るす支て　なつき尓遣らし　志ろ多遍の　ころも本す傳ふ　あ万のかくや満

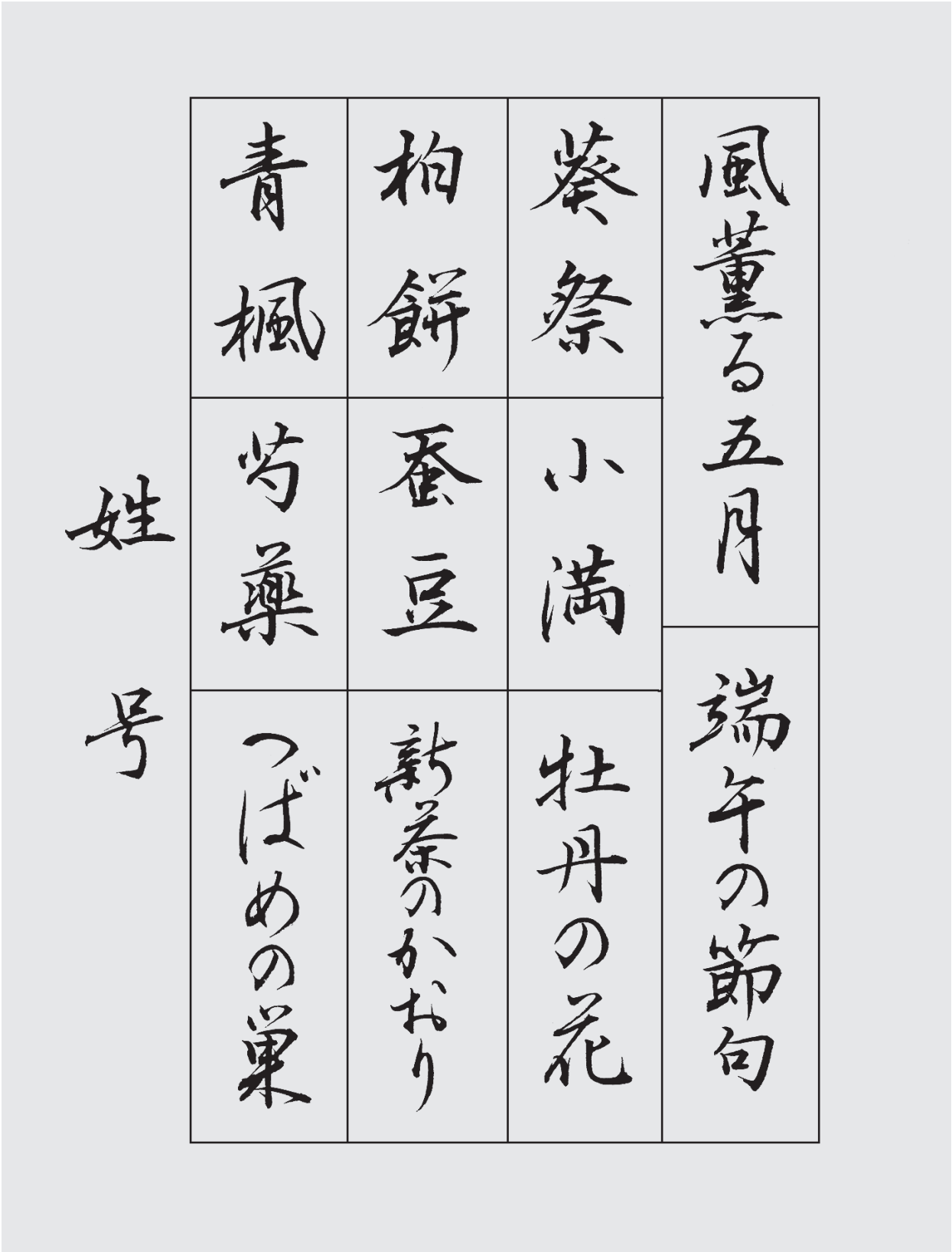
（新古今和歌集一七五　持統天皇）

舟　尾　圭　碩　先　生　書

半　紙　随　意　参　考　手　本　　―5月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目のいずれか一点のみとする）

半紙随意の実用書・手紙文の手本は、各月 交互の掲載となります



〈実用書〉風薫る五月　端午の節句　葵祭　小満　牡丹の花　柏餅
蚕豆　新茶のかおり　青楓　芍薬　つばめの巣

秋　永　春　霞　先　生　書

一般硬筆部参考手本＜A＞　―5月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

＜暮らしに役立つ書＞

書譜

新生活が始まり、一ヶ月が過ぎました。
引っ越しの荷物もようやく落ちつき、町の
様子にも慣れてきたところです。
こちらは、海岸へも徒歩五分、少し足を
延ばせば、各地に温泉もあるそうです。
休日の楽しみが増えました。
暑くなる前に二人で遊びに来ませんか。
お勧めの場所やお店にご一緒できる日
を楽しみにしています。

玲子

罫のある便箋に書いてみよう。＜26cm×18cm＞　紙質は自由。

※ 本研究社にて「特選便箋」を発売しております。本誌裏面をご参照の上、ご利用ください。

兵　頭　白　慧　先　生　書

一般硬筆部参考手本＜B＞　―5月末日締切―

（この課題以外の語句書体自由のものもよい。但、この課目Ａ・Ｂのいずれか一点のみとする）

七福神のうち、布袋だけは実在の人物がモデルである。それは中国の契此という僧で、太っていて大きな腹をし、居所は決めずに寝て、店があれば物を乞い、子どもたちを可愛がった。

段　級

氏　名

小畠秋聲先生書

今月のかきかたドリル　（形や注意する点に気をつけてゆっくり書こう！）

中　学	小学６年	小学５年	小学４年	小学３年	小学２年	小学１年	ようねん
胞	密	積	張	多	風	ね	の
胞	密	積	張	多	風	ね	の
胞	密	積	張	多	風	ね	の

一般の方も是非チャレンジしてください。

坂元紫香先生書

学生部条幅¼ 参考手本　―5月末日締切―

（この課題以外の語句のものもよい。但し、その学年にふさわしい語句が望ましい。）

ようねん・小学1年

小学2年

小学3年

小学4年

小学5年

小学6年

中学1年

中学2・3年

〈条幅¼＝四尺画仙紙半折¼…68cm×17・5cm〉

秋永春霞先生書

学生毛筆部規定参考手本　―5月末日締切―

ようねん・小学一年

次号予告「ふ　じ」

□うでを大きくうごかして、げんきよく書きましょう。

小学二年

次号予告「あいさつ」

□〝トメ〟〝ハネ〟のふでづかいに気をつけて、のびやかに書きましょう。

坂元紫香先生書

小学三年

次号予告「木」

□たて画の押え方や、〝折れ〟の部分の強弱のつけ方をしっかりと練習しよう。

小学四年

次号予告「雲」

□「地」の〝偏（へん）〟と〝旁（つくり）〟の組み立て方に注意して、バランスよく伸びやかに書こう。

吉田成美先生書

学生毛筆部規定参考手本　―5月末日締切―

小学五年

次号予告「飛　行」

□「首」の場所、「目」の位置や大きさに注意して、〝しんにょう〟を伸びやかに書こう。

小学六年

次号予告「感　謝」

□〝へん〟と〝つくり〟のバランスに注意して明るく伸びやかに書きましょう。

秋　永　春　霞　先生書

中学一年

次号予告「木　立」（行書）

□筆順に注意し、筆圧や点画のつながりを確かめながら、明るく伸びやかに書こう。

中学二・三年

次号予告「紅　花」（行書）

□漢字と仮名の筆脈や文字の大きさを意識しながら、調和のとれた作品に心がけよう。

吉　田　成　美　先生書

学生硬筆部規定参考手本　—5月末日締切—

ようねん（※ようねんの方は、小学一年の課題を書いてもよい。但、審査は従来通りです。）

こいのぼりがげんきに　およぐ

段級

氏名

にほぼ[とめる]　ーよ[とめる]

小学一年

ねこが　いっぴき、はらっぱ　はしる。ねっこ　とびこえ、ばったたとかけっこ。

段級

氏名

ひび[とめる]　ーうえ[とめる]

坂元紫香先生書

学生硬筆部規定参考手本　—5月末日締切—

小学二年

よく晴れて、風のある日には、わたし毛は、とおくまでとんで いきます。

段級

氏名

日 日 日 晴 晴 晴

小学四年

ふと、春の風景を見かける
ことがありませんか。あな
ただけの「きせつの手帳」
に書きとめましょう。

段級

氏名

⊙まっすぐ下におろす
⊙はねる
⊙はねる
⊙はねる
⊙ながくつきでる

坂元紫香先生書

小学五年

せんすは、とじたままではあお
げない。よりたくさんの風を送
るためには、広げて、面積をより
大きくしたほうがいい。チョウ
は羽で空気をおして飛ぶ。

段級

氏名

⊙上のよこかくより長い
⊙とめる
⊙とめる
⊙はねる
⊙はねる

小畠秋聲先生書

学生硬筆部規定参考手本　—5月末日締切—

小学六年

私たちの体の動きと心の動きは、密接に関係しています。例えば、私たちは悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きに表れます。

段級

氏名

中学

一画で書く　私 私

密接（みっせつ）

宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀 宀 密 密

はらう　とめる　左上にはねる

悲 悲

ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛みが増します。逆に、円を描くようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛みが抑えられるのです。

段級

氏名

胞（ほう）　壊（かい）　描（えが）

小畠秋聲先生書